

## 公益財団法人 JKA オートレース公益資金による補助事業（2014 年度）

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

小児がん患児のきょうだい支援については当会を含め院内や支援団体等で行われ始めているが、思いだけで実践につながらないものもある。そこで、きょうだいに纏わる様々な課題を整理し、きょうだいやその課題、医療従事者など支援者や周囲の人々全てが共に話し合い、何ができるかを考えるための指針（ガイドライン）を作成することで、支援の発芽を実現させるために後押しをすることを目的としている。

#### (2) 実施内容

##### 1) ガイドライン作成委員会

委員は、小児がんの子どものお父さん・お母さん、きょうだい、小児がん経験者、医師、看護師、保育士、ソーシャルワーカー、小学校教諭で構成され、オブザーバーとして慢性疾患患児のきょうだい支援を行っている実践家を招いた。

昨年度開催の公開シンポジウムでの反響及び意見・体験募集を踏まえて、ガイドラインの骨子案を検討する委員会を開催した。当初は6月と10月の開催予定だったが、ワークショップを挟んでの開催がふさわしいと委員会の議論で決定し、11月と2月の開催となった。11月は、ワークショップで提案するための目次案を作成、2月は、ワークショップでの意見を基に再検討を行い、最終の目次案及び骨子案を作成した。

##### 2) 当会公開シンポジウムにおけるワークショップの開催

<http://www.ccaj-found.or.jp/news/info/56-sinpo/>

第56回日本小児血液・がん学会及び第12回日本小児がん看護学会学術集会と並行開催で行われた第19回公益財団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウムにて、ワークショップ「きょうだいのガイドラインを作ろう」を開催した。全国の小児がん患児・家族及び学会参加者の医療従事者の約140名の参加があり、会場からは提示した目次案に対する活発な意見が寄せられ、今後の作成の貴重な機会となったばかりでなく、小児がんの子どもときょうだいの経験や想いを共有する場ともなり、充実した時間となった。

### 2 予想される事業、実施効果

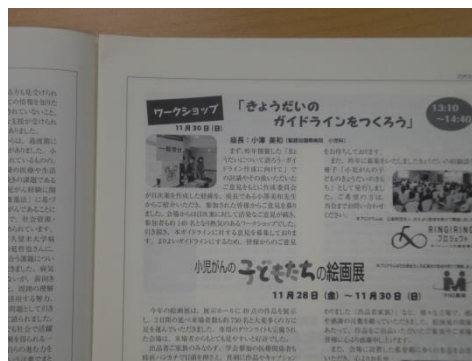
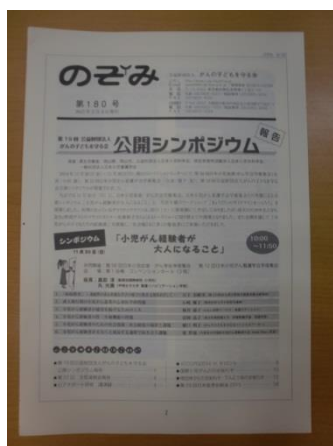
具体的なガイドラインの作成という目的を持って、ワークショップにて小児がん患児・家族及び小児がんの子どもときょうだいに関わるもしくは関心のある医療従事者が、共に議論をしたことで、小児がんの子どもたちのきょうだいに対する患児・家族と医療従事者の想いの摺合せが可能になり、今後、各地域の医療機関でのきょうだい支援の取り組みを試行するきっかけとなったことが、当日のアンケートから分かった。また、今年度の事業が、より患児・家族、医療従事者にとって有用なガイドライン作成の礎となり、2016年の完成への一歩となった。

### 3 補助事業に係る成果物

- (1) 補助事業により作成したものの  
ポスター、チラシ



- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
がんの子どもを守る会機関誌「のぞみ」第180号 (ワークショップについて掲載)



### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人がんの子どもを守る会 (ガンノコドモヲマモルカイ)  
 住所： 〒111-0053  
 東京都台東区浅草橋1-3-12  
 代表者： 理事長 山下 公輔 (ヤマシタコウスケ)  
 担当部署： 事務部 (ジムブ)  
 担当者名： 岡部 耕一郎 (オカベコウイチロウ)  
 電話番号： 03-5825-6311  
 F A X : 03-5825-6316  
 E - m a i l : nozomi@ccaj-found.or.jp  
 U R L : http://www.ccaj-found.or.jp/